

粕谷和夫の観察日記。セグロセキレイ親子です。7月2日高月の田んぼ、7月の野鳥定期カウントで出合いました。ハクセキレイもいましたが、この親子はとても可愛かったです。よく見ると、親はくちばしに何か咥えていますね。

紅葉台



新聞

第143号

2024年
8月17日

発行 1・関谷 孝

予祝 モンゴルに学校をつくる

「シリアに桜を植えた」佐藤さんを紹介しました。(紅葉台新聞78号) 佐藤さんは、高尾にある東京高専で教師をしていた時に、モンゴルからの国費留学生ガンバルさん(男・国費留学2期生)・バイガルマさん(女・国費留学生1期生)と出合いました。この2人が中心になって母国に「モンゴルコウセン」という学校を3高専創立することに尽力しました。その後、佐藤さんは、個人でモンゴル語教科書の編集出版など発案し、計画、モンゴル高専に贈呈しました。数学教育に「グラフ電卓」の機材を500個ほど集めて贈呈もしました。このように沢山の貢献もあり「ハンガイ大学学術顧問教授」に就任しました。今年の6月、3回目の卒業式に招かれて祝辞として話したのが「予祝」という話でした。この予祝という考えを広く知ってほしいと思い紹介します。

佐藤義隆 ハンガイ大学学術顧問教授

先日モンゴルへ行きました。ハンガイ大学(ウランバートル)の卒業式に出席し、そこでスピーチを依頼されました。日本古来からある「予祝(ヨシュク)」を紹介しました。この予祝という考えはあまり知られてませんが、とても素晴らしいので、是非広く知ってほしいですね。以下はスピーチの内容です。『卒業おめでとうございます。みなさんに日本の古代から伝わる「ヨシュク」(予祝)という考え方を贈ります。簡単なことなのでぜひ身に付けてください。何か新しいことにチャレンジするとき、たいていは、うまくいかなかったらどうしよう、自分には力がないからきっと失敗するだろう、なんて気持ちを持つものです。しかしこういう気持ちは全く役に立たないばかりでなく、ブレーキをかけるものです。ビジネス書や生き方の本では、これらの気持ちを捨て去り、頑張る積極的な気持ちを持ち続けよう、と書いています。全くそのとおりですが、ヨシュクは、この上を行く生き方です。うまく行ったらどんなに素晴らしいことになるかを、先に強くイメージするのです。その喜びを味わっている自分を強く想像するのです。そうすると、不思議なことに、そのようなことが自然に実現されて来る、というものです。ヨシュク というのは、先に



結果を喜んでしまおう ということです。実は不思議でもなんでもない。頑張る積極的な姿勢になる、という「頑張り」も不要で、目的にエネルギーをそのまま集中できるわけですから、当然です。イメージを強く持つことが大事です。日々の生活の中でも使えます。友達関係を改善させたいと感じているとき、改善された状況を強くイメージします。そしてその時の自分が幸せであることを強く感じま

す。やってごらんない、望んだように動いていきますから。他の細々とした問題にも、大きな問題にも、全部このヨシュクを取り入れてやってみて下さい。みなさんの将来は、バラ色に輝きますから。』



この話を聞いてとても感動しました。つい不安が頭をかすめそのことで悶々としがちですが、私たちが明るく未来を思い描くことがとても大事だと改めて考えさせられました。

モンゴルの桜



佐藤義隆(写真左 ハンガイ大学)

モンゴルに桜の苗木を1本だけ持ってきました。モンゴルは、冬はマイナス45度以下にもなるので花が咲くのはとても無理と思っていました。2020年のことです。その直後のコロナ禍で私はモンゴルに行けな

いままになっていました。現地から連絡がなかったのも桜のことは忘れていました。

ところがモンゴルから、桜が咲いた🌸と言う連絡が来ました。

2024年の5月9日朝でした。4年間、じっと耐えて咲いてくれたのですね。



粕谷和夫の観察日記



6月14日に緑色の葉の一部が白に変わるマタタビをアップしました。この写真の上がイワガラミ、下がハンゲショウです。イワガラミはツル性のアジサイの仲間、白い部分は飾り花です。両花とも花粉を媒介する虫を呼ぶために目立つ「白」で花を飾っているのです。尚、暦の半夏生(ハンゲショウ)は夏至から数えて11日目、今年は7月2日です。この日を過ぎてから田植えをしても稲の稔が期待できないと昔から稲作の節目の日でした。

6月6日に高月水田のコチドリをラインアップしました。7月2日には高月水田に7羽のコチドリが降りていました。この写真はそのうちの1羽で飛び立つ直前、今まさに飛び立とうとしている姿です。この個体が飛び立ったら近くにいたほかの6羽も飛び立ちました。この6羽の中には今年生まれの雛もいたかもしれません。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。